

私の想い

《脱二流を目指して》



自治公民館
連絡協議会
会長
岩室 道人

す。小学校では高学年になると音楽の授業で日本の伝統のある雅楽を習うようで、度々学校で雅楽教室なるものを開いて子供たちに雅楽を教えたりしています。以前は大崎小学校でも定期的に行っていましたが最近ほとんど声がかからなくなりました。

私の所属する団体は薩摩雅会といつて県内の雅楽愛好者で活動をしていまして、自慢ではありませんが昨年鹿児島県芸術祭奨励賞を頂き、ますます技が冴えるかと思いきや中々思うように上達できません。

今年も無事に新年を迎えることができて喜んでいきます。元旦の朝七時から私達家族一同揃って初詣、神様にその御礼を申し上げ、その後新年会、次いで十時からは、船迫の公民館で集落の新年会が開かれますので、中々気ぜわしいのですが朝から飲めるのは正月くらいだなどと言って結構楽しく過ごしています。

ところで私は雅楽というものをやっています。雅楽とは日本古来の音楽と大陸から伝わってきた楽舞が融合してできたもので平安時代に完成し以来千年以上も変わらずに今の時代に演奏されていま

ます。そして一流とはどんな演奏もできてどんな人とも合わせて演奏を上手にリードしていきます。そしてほとんど文句を言いません。周りの人を大事にして、たとえ音がはずれてしまっても人のせいにはせず自分が至らないと反省をするのです。

これは何も雅楽だけには限らないような話ですね。人のせいにするうちはまだまだ二流なんですね。「私が足りなかった」と謙虚な姿勢と慎み深い心や態度が一流になって行くのですね。

私も一流を目指して心豊かに生きていきたいと思っていますが。

先日私が座布団を車の上に四枚干しました。それに気付かず私の妻が運転していき途中で全部道路に落としてしまいました。「何で確認しないのか」と私は怒りましたが「あつままだまだやなあ」とつぶやく今日この頃です。



編集後記

新年が明け皆様には健康で希望に満ちた初春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

1月5日、大崎町の成人式があり、196人のうち140人が出席し、晴れて大人の仲間入りをしました。この若者が地元に住し、又地元で働く場があればきつと活気ある町づくりが出来ます。

少子化の中、中学校が統合され、更に県立有明高校も統合される予定になっております。知事は高校跡地に陸上競技場やスポーツ合宿所等を整備すると約束されておりますが、私達議会も心を新たに、本町にとって活力となる若者が魅力を感じるような町にするために、政策提言をして参ります。ここに議会だよりをお届けいたします。

(広報編集委員 諸木悦朗)

発行責任者 大崎町議会議長

中倉 毅